

教職大学院が 生まれ変わります

教科教育や特別支援教育も学べます！

現在

教職開発専攻(教職大学院)

学校経営コース

(学校組織マネジメント、人材育成など)

教職実践コース

(授業開発、生徒指導など)

学校教育専攻(修士課程)

学校教育コース

(教育学、教科教育、特別支援教育など)

統合

令和2(2020)年度～

教職開発専攻(教職大学院)
〈20人〉

4つの分野のプロフェッショナルを育成

学校経営

授業開発・教科教育

学級経営・生徒指導

特別支援教育

募集人員 20人

入学者選抜試験

第1次募集: 令和 元(2019)年 11 月 30 日(土)

第2次募集: 令和 2(2020)年 3 月 14 日(土)

大学院進学説明会

令和 元(2019)年 10 月 5 日(土)

令和 2(2020)年 2 月 8 日(土)

取得できる専修免許状(※)

幼稚園教諭専修免許状 小学校教諭専修免許状 中学校教諭専修免許状

高等学校教諭専修免許状 特別支援学校教諭専修免許状

随時更新中！

授業の様子などを
発信しています！



教職大学院 活動報告



大分大学 大学院入試

問い合わせ先

大分大学教育学部 学務係
097-554-7511

※入試の詳細や、専修免許状の取得要件については募集要項をご覧ください。
※大学院進学説明会の詳細については教育学部ウェブサイトでお知らせいたします。
※学校教育専攻(修士課程)は募集を停止します。

教職大学院のカリキュラムイメージ（修了要件45単位）

共通科目（16単位）

●基礎理論科目（10単位）

「カリキュラムデザイン基礎」
「授業開発・学習指導基礎」
「生徒指導・教育相談・特別支援基礎」
「学校の組織づくり基礎」
「教員の専門性開発基礎」

+

●実践演習科目（選択必修6単位）



実習科目（10単位）

- 学校や関係機関などで2年間で400時間の
の実地経験を積みます。



省察科目（9単位）

- 実習の経験を振り返り、2年間の研究成果
として報告書を作成し発表します。



高度専門科目（多様な科目群から選択・5科目10単位以上）

- 学校マネジメント
領域（5科目）

- 授業開発領域
（4科目）

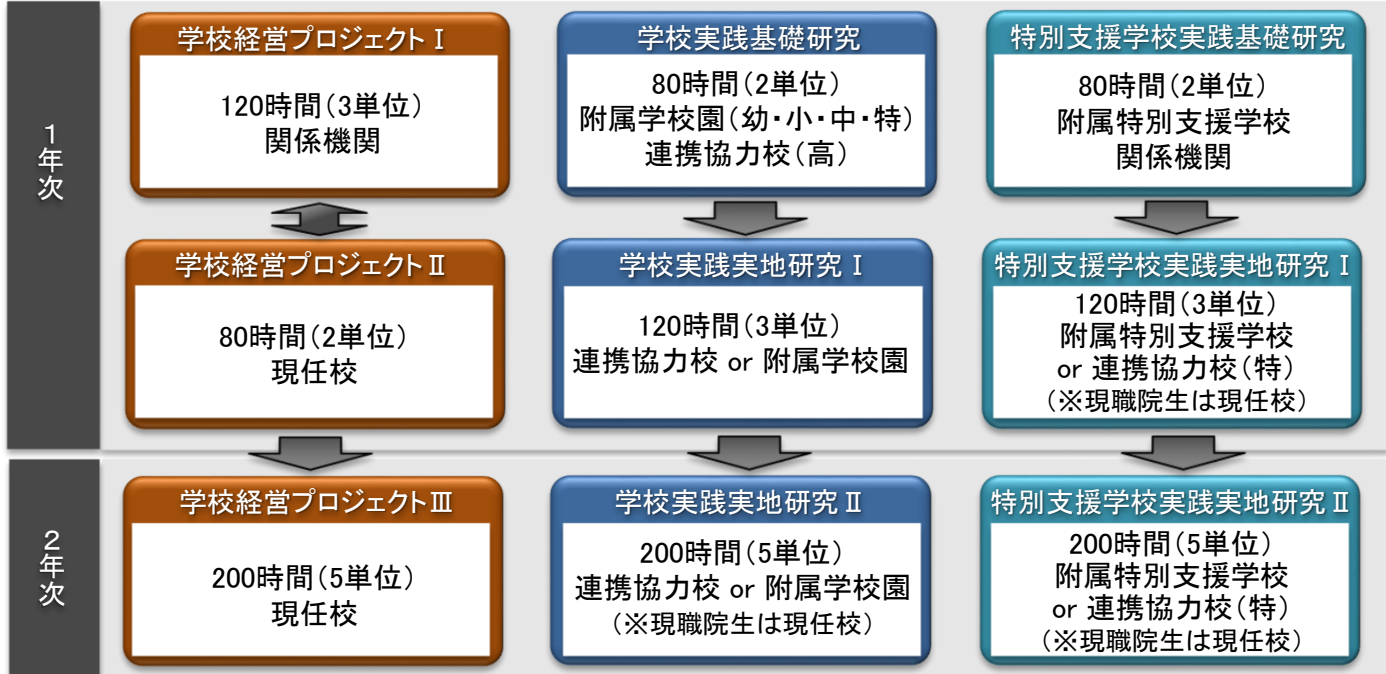
- 学級経営領域
（4科目）

- 特別支援領域
（8科目）

- 学校研究法
（1科目）

教職大学院の実習

- ✓現職院生の実習では、現任校の課題解決（学校経営や教育実践の改善）に取り組みます。
- ✓学卒院生の実地研究Ⅰ・Ⅱでは、1年次（10月～1月）から2年次（4月～12月）に原則として同一校で実習します。



現職教員を対象とした履修プログラム

特色1

個々のキャリアやニーズに応じる履修プログラム

管理職養成履修プログラム

- ✓理論と実践力を備えた学校管理職を養成

中堅教員養成履修プログラム

- ✓教科教育、生徒指導、特別支援教育などの専門性を高め、学校の教育活動をリードできる教員を養成



特色2

研究を通して現任校の課題解決に取り組む

- ✓現任校の課題に即した研究テーマを設定
- ✓院生自身の専門的力量を高めるとともに現任校の課題解決に取り組む



特色3

修了後も継続・発展するネットワーク

- ✓毎年8月に「ホームカミングデー」を開催
- ✓修了生や在籍院生で実践や研究について交流
- ✓修了後も、学校経営や教育実践について支え合い学び合えるネットワークを構築

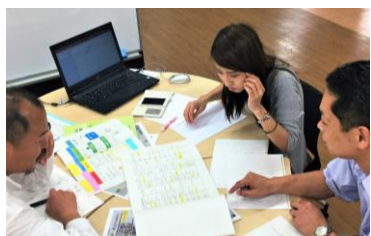


学卒院生を対象とした履修プログラム

特色1

教職に対する「実力」と「自信」をつける実習と省察

- ✓一つの実習校で2年にわたり継続的に実習
- ✓実習で経験したことを、省察科目で振り返り教職の実践的力量を高める



特色2

学びのニーズに応える高度選択科目

- ✓教科教育、学級経営、特別支援教育など様々な分野の「高度専門科目」を設置
- ✓多様な科目群から選択可能



特色3

現職院生との学び合い

- ✓学卒院生と現職院生が学び合うことで学校現場のような協働的な教育研究の場を創出
- ✓経験豊富な現職院生と共に学ぶことで実践力を高める



現場で活躍する修了生の声(現職院生)

自分が学校経営をする際の「拠り所」を得ることができました！

私は「校内研究・研修を通じた人材育成」をテーマに研究に取り組みました。教職大学院での学修を通して、自分が学校経営をする際の「拠り所」を得ることができたと感じています。教職大学院では教育を取り巻く最新の状況を把握しながら学校経営について考えることができます。また、学校経営の理論を学ぶことで、学校組織が抱えている問題を捉え、解決すべき課題を見だし、問題解決を図るための「道筋」を考えることができます。今後、管理職やミドルリーダーになられる方にとって、教職大学院は有益な学びの場だと実感しています。また、教員志望の学生や若手教員の方にとっては、経験豊かな現職院生と教材研究などを進められるため、現場での実践力が培われると感じています。

松本 俊也さん

(平成30年度修了・大分市立下郡小学校教頭)



現場で活躍する修了生の声(学卒院生)

現職院生と学び合う中で、現場に即した授業づくりや学級経営の方法を学べます！

教職大学院では、現職院生の方々とディスカッションを行う講義が多く、現場に即した授業のつくり方や学級経営の方法、保護者対応や児童の姿を知ることができます。また、現職の先生方と同じ院生室で過ごすので、模擬授業を構想したときに困ったところを質問でき、常に先輩教員に助言をもらえるような環境が整っています。

河野 聖羅さん

(平成30年度修了・大分市立賀来小中学校教諭)



長期にわたる実地研究で「授業をつくる力」が身につきました！

教職大学院の授業では、現場経験の豊富な現職院生の方々と一緒に、様々な教育課題や授業法について考え議論します。そのことを通じて、私は学部で培ってきた自分の「教育観」をさらに深めていくことができました。また、教職大学院協会での実践研究発表など、自分の考えを発信する機会があったことで、同僚だけではなく外部の人に向けて「発信する力」もつけることができました。大学院では学部時代に比べ、長期にわたる実地研究を行います。そのため「現場の課題」をより深く知ることができます。研究の検証授業を行うことを通じて、1つの授業を見つめ直し作り上げる機会や、現場の先生方から自分に足りない授業の視点を教えていただく機会を得ることができ、「授業をつくる力」が身についたと実感しています。

細川 航平さん

(平成29年度修了・竹田市立祖峰小学校教諭)



専任教員

※ 下記の教員に加えて、2名の実務家教員(みなし教員)が就任します。
※ 多様な学びのニーズに応えるため、教育学部や附属教育実践総合センターの教員も兼任教員として教職大学院の授業科目を担当します。

山崎 清男 特任教授 (研究者教員) ▶ 専門分野: 学校経営 ▶ 担当科目: 「学校マネジメント総合演習Ⅰ・Ⅱ」 「学校間連携・地域連携の実践研究」等	今村 裕 教授 (研究者教員) ▶ 専門分野: 学校心理 ▶ 担当科目: 「生徒指導・教育相談・特別支援基礎」 「子ども支援の理論と実践」等
福本 昌之 教授 (研究者教員) ▶ 専門分野: 学校経営 ▶ 担当科目: 「学校の組織づくり基礎」 「学校経営の理論と実践研究」等	竹中 真希子 教授 (研究者教員) ▶ 専門分野: 教育方法 ▶ 担当科目: 「授業開発・学習指導基礎」 「学びの理論と授業開発のデザイン」等
佐藤 晋治 教授 (研究者教員) ▶ 専門分野: 特別支援教育 ▶ 担当科目: 「障害児心理のアセスメントと事例研究」 「特別支援教育・障害児支援の現状と課題」等	大島 崇 准教授 (研究者教員) ▶ 専門分野: 教師教育 ▶ 担当科目: 「教員の専門性開発基礎」 「校内研究と教職員の職能成長の実践研究」等
河野 晋也 講師 (研究者教員) ▶ 専門分野: 教科教育 ▶ 担当科目: 「カリキュラムデザイン基礎」 「授業分析の理論と実践研究」等	山本 遼 講師 (研究者教員) ▶ 専門分野: 教育行政 ▶ 担当科目: 「学校経営の理論と実践研究」 「学校間連携・地域連携の実践研究」等
藤村 晃成 講師 (研究者教員) ▶ 専門分野: 生徒指導 ▶ 担当科目: 「子ども支援の実践研究」 「学級における個と集団のとらえ方の実践研究」等	有定 裕雅 教授 (実務家教員) ▶ 専門分野: 学校経営、教育行政 ▶ 担当科目: 「教育法規の解釈・運用に関する実践研究」 「学校危機管理の理論と実践研究」等
小池 一彦 特任教授 (実務家教員) ▶ 専門分野: 学校経営、教育行政 ▶ 担当科目: 「教員の専門性開発基礎」 「教育データの分析と活用」等	古庄 一夫 准教授 (実務家教員) ▶ 専門分野: 特別支援教育 ▶ 担当科目: 「生徒指導・教育相談・特別支援基礎」 「特別支援教育総合演習Ⅰ・Ⅱ」等
牧 英治郎 准教授 (実務家教員) ▶ 専門分野: 生徒指導 ▶ 担当科目: 「学級における個と集団のとらえ方の実践研究」 「授業研究・子ども理解総合演習Ⅱ」等	立川 研一 准教授 (実務家教員) ▶ 専門分野: 学習指導 ▶ 担当科目: 「授業開発・学習指導基礎」 「授業研究・子ども理解総合演習Ⅰ」等